

令和 7年度

事務事業評価表 ( 令和 6年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 7 年 4 月 3 日

事務事業名		新入学児童ランドセル配付事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020102000186
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090101 学校教育課
政策体系	総合計画の施策名	0201		学校教育の充実					
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり			課長名			
	施策名	01	学校教育の充実			グループ			
	手段名	02	②教育体制の充実			担当者名			
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	02	00	事務局事業		
法令根拠	桜川市新入学児童入学祝い品支給事業実施要綱								
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手段	(1) 事務事業の概要				
	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) ランドセル配付事業は、新入学児童の健やかな成長を願い、合併以前から3町村で実施している (旧岩瀬町・旧真壁町 平成5年から、旧大和村 昭和52年から実施)。 入学時期は保護者にかかる経費も多く、ランドセルを配付することにより、保護者にかかる負担の軽減となっている。また、同じものを使用する事により、差別やいじめに対する対策が図られる。 ランドセルは、学校教育課で一括購入し、配付する。 令和4年度購入分 (令和5年度新入学児童) より、潜在的なLGBTへの対応及び児童の多様性を考慮し、ランドセルを男女で色を指定するのではなく、7種類 (レッド・ブラック・セピア・キャメル・チェリーピンク・ネイビー/スカイ・ネイビー/パープル) から選択することとした。				
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 業者との契約をする。 新入学児の自宅あてにランドセル希望色の申込方法を通知する。 ランドセル配付日を決める。 市広報誌掲載及びHPによる周知をおこなう。				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)		
新入学児童の人数を把握し、業者と契約及び各学校へランドセル配付日を決める。	ランドセル個数	個	213.00	198.00	200.00	200.00	200.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)		
新入学児童数	新入学児童数	人	210.00	191.00	200.00	200.00	200.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)		
統一したランドセルで通学できる。保護者にかかる負担の軽減となっている。	負担が軽減された保護者数	件	210.00	191.00	200.00	200.00	200.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		

(3) 投入量 (事業費) の推移		05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	7,919	7,641	8,360	
	事業費計 (A)	千円	7,919	7,641	8,360		
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	07 報償費	7,641		07 報償費	8,360	
		合計	7,641		合計	8,360

(4) 当該年度の実施内容	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者との契約事務</li> <li>新入学児の自宅あてにランドセル希望色の申込方法を通知、展示会を実施する。</li> <li>ランドセル配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者との契約事務</li> <li>新入学児の自宅あてにランドセル希望色の申込方法を通知、展示会を実施する。</li> <li>ランドセル配付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業者との契約事務</li> <li>新入学児の自宅あてにランドセル希望色の申込方法を通知、展示会を実施する。</li> <li>ランドセル配付</li> </ul>

	・中仏取組掲載及びHPによる周知をのこす。	・中仏取組掲載及びHPによる周知をのこす。	・中仏取組掲載及びHPによる周知をのこす。
事務事業名	新入学児童ランドセル配付事業	事務事業No.	20102000186
		所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 入学時期は保護者の負担も多く合併以前から3町村で実施しており（旧岩瀬町・旧真壁町平成5年から、旧大和村昭和52年から実施）ランドセル購入価格は原材料の高騰により増加の傾向にある。			
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ ランドセル支給を大変喜ぶ保護者がいる。 近隣市町村（結城市等）では多色展開をしているため、同じように自分の好きな色を選択したいという保護者からの意見があった。			

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	子育て事業の一環として、新入学児童を持つ家庭にとっての経済的負担を軽減することに結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市内の全ての小学校に入学する児童に公平に同じものを配付することで、いじめ等の防止にもつながる。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	ランドセルに代わるものの要望も聞かれるが、現状維持の状況である。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市からの贈呈品として、新入学時に公平に同じものを配付する品として定着していることから、廃止するのは難しい。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	他に類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	年々ランドセル1個あたりの単価が、原価の上昇等の影響を受けて上昇しており、削減は難しい。また令和4年度より多色展開となることから、単価が上昇せざるを得ない。新入学児童数が減少していくにつれ、事業費自体は削減されていくと思われる。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	新入学児童全員に贈呈（特別支援学校入学児童含む）を対象に配付。 令和4年度購入分（令和5年度新入学児童）からは基準日に、桜川市に住所を有する者にランドセルを支給する。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	ランドセル支給に関する周知及びランドセル展示会を行った。ホームページや広報紙（5月号）で周知を行うことができた。 ランドセルの購入と配付については滞りなく行った。 潜在的なLGBTへの対応等を考慮し、令和4年度購入分より支給対象者となる令和5年度新入学児童がランドセルを7種類から選択することとした。																								
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認